

2023年4月中旬

一粒書房 新刊のご案内

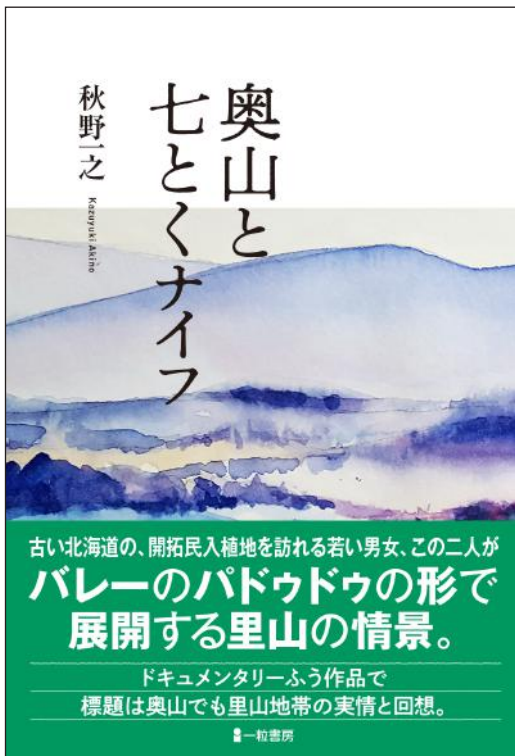
文芸／小説  
ご担当者様

〒475-0837 愛知県半田市有楽町7-148-1  
TEL:0569-21-2130  
Mail: book@ichiryusha.com

# 奥山と七とくナイフ

四六判・並製本／200頁／定価：1210円(本体1100円+税)

秋野一之 [著]



北海道開拓農民の、若い幼なじみ男女が、立ち去った親達のふるさとを訪ねて、昔をしのぶ情景が展開される。

若者は作品上の人物にしても、風景、物事、回想はほぼ実話に近い。

屈託なく話し合う二人には重苦しさは少しもなく、とても明るい。雪焼けにもなる、きらめく雪に溶ける表情ともなっている。二人の振る舞いは、あたかもバレエのパドウドウの姿と言っていいでしょう。

バックは山里の人情と動物たち。項目は金砂蜜、野兔、狐の里、カケス、火の鳥、軽便鉄道、太鼓の七つ。時代背景は第二次世界大戦中。

「東京を去る」は詩と随筆の混合形態で、作者の心情が覗かれる内容となっている。

「随筆」は作者の思いが時系列に書かれており、時代が反映されている。

作者には詩集「遠い妻」「イコール1」「ひき蛙」があり、随筆には「空白」アフォリズムに近い「欲の河」がある。

《目次より》

- 奥山と七とくナイフ
- 東京を去る
- 随筆

【著者紹介】秋野 一之(あきの かずゆき)

昭和12年、北海道上士別村生まれ。旭川東高校卒業後、中央大学第一商科卒業、文部省図書館職員養成所卒業、東京教育大学特設教員養成部中退。諸種の職業を経て、蕪文庫を創設、出版と書店を自営。小説、詩を創作し続け、『あゆみ』『美しい惑い』『窓辺』『赤塚情話』『遠い妻』『血の晩』などの著書がある。

ご注文申込書	貴店名・帖合	注文数	発行：一粒書房 TEL.0569-21-2130
			秋野 一之 [著] <b>奥山と七とくナイフ</b> 四六判・並製本／200頁 定価：1210円(本体1100円+税)
			冊 ISBN978-4-86743-171-9 C0093 ¥1100E

ご注文は JRCへ → FAX.03-3294-2177 ※返品条件付き注文扱い